

# 仕事を動かすのは、 技術よりも情報。

実務再現型トレーニング事業紹介

# 技術の進化と現場の現実

AIやDXの進化により、業務を支援するツールやシステムは急速に発展しています。

しかし、現場で仕事を止めている原因は、**技術不足ではありません。**

- 必要な情報が共有されない
- 情報の粒度が人によって異なる
- 認識にズレが生じる
- 判断の根拠が伝わらない



# 「情報を扱う力」こそが本質



どれほど優れた技術や仕組みがあっても、

人が情報を正しく扱えなければ、  
**仕事は前へ進みません。**

私たちは、この「情報を扱う力」こそが、これからの企業に最も必要な実務能力だと考えています。

# 座学では身につかない理由

## 理論と実践の乖離

報告の仕方やコミュニケーションを学んでも、現場で同じように実践できるとは限りません。座学だけでは「想定外」に対応できないからです。

## 過酷な現場のリアル

実際の仕事では、常に情報が不足し、時間に追われ、立場の異なる人たちと認識を合わせながら判断を重ねていく必要があります。

# 実務を再現するトレーニング

私たちは、講義ではなく「**実務そのものを再現するトレーニング**」を開発しました。

受講者は、進行役・議事録担当・チーム代表・監査役などを担当し、不完全な情報の中で報告・判断・調整・合意形成を繰り返します。

知識を学ぶのではなく、仕事を前へ進めるための思考と行動を、体験を通じて身につける教育です。



# このような企業・組織に



若手社員が現場で思うように  
力を発揮できない



報連相のズレや認識違いによる  
手戻りが多い



部門間の連携や合意形成に  
時間がかかる



技術教育だけでは  
実務力が育たないと感じている

# 業界を超えて展開できる 教育メソッド

私たちが教えたいのは、業界固有の知識ではありません。仕事を前へ進めるための「情報の扱い方」です。教育メソッドは業界共通であり、教材を各業界の実務に合わせて設計可能です。

# 多様な業界への展開



IT業界向け



介護業界向け



製造・建設・物流・サービス

現在はIT・介護向けを主軸に、他業界への展開も視野に入れています。

# この教材を開発した理由

## 現場での15年間の気づき

私は約15年間、PM・PMOとして数多くのプロジェクトに携わってきました。順調な案件だけでなく、多くの困難なプロジェクトの立て直しにも関わる中で、共通点に気付きました。

- ❑ 必要な情報が共有されないこと
- ❑ 認識が揃わないこと
- ❑ 判断の根拠が伝わらないこと

つまり、人が情報を扱う力の問題でした。

「しかし、その力を体系的に育てる教育は、ほとんど存在しません。だからこそ、このトレーニングを開発しました。」

# 導入しやすい環境の提供

本研修は、**人材開発支援助成金**の活用を前提とした導入支援体制を整えています。

サポート内容	詳細
書類準備の支援	助成金申請に必要な計画届や書類作成をサポート
一貫した手続き	導入から申請完了まで一貫して伴走
負担の最小化	企業の金銭的・リソース的負担を抑えた導入を実現

# 私たちが目指すもの

私たちが目指しているのは、研修会社ではありません。

業界ごとの現場知見を取り入れながら、「仕事を前へ進める力」を育てる教材を育て続け、

**日本企業の実務力を底上げする教育基盤**をつくることです。

まずは事業の考え方やトレーニング内容をご紹介させてください。

お電話での受付

090-9686-8931

メールでの受付

[training@gunsystem.co.jp](mailto:training@gunsystem.co.jp)